社協のマーク

おもいやり

高津第三地区社協機関紙38号
＜発行日＞平成30年３月31日
＜発行人＞高津第三地区社会福祉協議会
会長　斉　藤　二　郎
川崎市高津区溝口1－6－10
てくのかわさき３階
福祉パルたかつ内
ＴＥＬ 044－812－5500

ごあいさつ

高津第三地区社会福祉協議会
副会長　山本 美代子

地域の皆さま　私ども高津第三地区社協は新年度を迎え、新たな気持ちをもって、接した方々が笑顔になるような福祉活動に取り組んでまいりたいと存じます。その福祉活動資金として、真夏の暑い時期の賛助会費毎年全国的に実施されます共同募金、そして年末の助け合い運動などたくさんのご支援ご協力をいただいております。

改めて厚くお礼申し上げます。

さて、最近「地域包括ケアシステム」の文字をパンフレットなどで多く目にすると存じます。その内容を一言でご説明いたしますと「地域に生活する高齢者の住まい・医療・介護・予防・生活支援を住み慣れた安心できる地域で一体的に提供しようとするための国と市の施策」のことで、地域（町会・民児協・社協など）の方もできるだけそれに協力してくださいということも含まれます。

この高津第三地区には住み慣れた安心できる地域での介護予防ということで、各町会では次のような「ミニデイケア」を実施しております。二子第１「ひまわり会」第２「こでまり会」第３「すみれ会」第４「すまいるクラブ」第５「木遊会」諏訪第１・２「諏訪ひだまり会」北見方「さつき会」下野毛「社協あけぼの会」また、各町会には活発な活動をしている「老人クラブ」がございます。

高津第三社協独自の「ミニデイケア」も実施しておりますので、この「おもいやり38号」の老人福祉部以下、各部の紹介記事をご参照ください。

なお、「ミニデイケア」「老人クラブ」にご参加希望の方は各町会福祉部、地区民生委員にご相談ください。以上、簡単ではございますがごあいさつとさせていただきます。

北見方さつき会

塚本 幸江

北見方さつき会は、平成14年4月にミニデイさつき会として誕生しました。今月で188回を迎えました

高齢者の皆様が引きこもりにならないよう地域でいつまでも楽しく、お元気に過ごしていただけるよう願って発足しました。町会加入の六十才以上、一人で住んでおられるお年寄りを対象に、毎月第三土曜日1時30分より北見方公民館で行っています。会員の皆様は毎回お元気に参加されます町会長の挨拶に始まり、健康体操、誕生日月の方にはお花とお祝いの歌のプレゼントがあります。時にはゲストをお迎えして落語、民謡、オカリナ演奏等もあります。

又、手作りおにぎり、とん汁等で食事もします。コーヒーゼリーは毎回手作りをしてとても喜ばれております。12月には桜井純恵先生とクリスマス会を楽しみました。

町会長を中心にボランティア、男性7人女性9人で運営をしております。少しでも会員がお元気で楽しんでいただけるよう努力しております。これからも、さつき会の応援よろしくお願いいたします。

平成29年度 秋の歩こう会

老人福祉部
小柴　博

十月三十日、前夜急速にスピードを増した台風は快晴の秋を連れて来てくれた。今回の目的地は今年リニューアルした小黒恵子童謡記念館を訪れることにした。

総勢88名が一階ホールに着席。ヘルスパートナーによるテントラ体操でスタート。バックに流れる「テントラちゃんは行く」は当然CDだと思っていたが、そこには桜井純恵さんがいた。その澄んだ張りのある歌声は、聴衆すべてのテンションを否応なく上げた。

続いてグランドピアノに合わせて、秋らしい童謡を熱唱した。90人弱の人間がピアノの音一点に集中し、一緒に歌を歌うことの楽しさを味わえた

ここではその季節に合った童謡を歌う会のほか合唱団によるミニコンサートなど、毎月なんらかのイベントが開かれているし、桜井純恵さんもここで「小黒恵子童謡記念館で歌う」と言う文化講座を開設しているそうである。

十一時、オルゴール視聴となった。そこには大変立派なアンティークオルゴールがずらっと並んでいた。120年前にドイツや米国で造られたものだそうだ。スタートは本物コインの投入で始まる120年前にすでにジュークボックスの原型ができていたことに驚いた

続いて展示中の蓄音器の説明になった。これがいまだに現役、ちゃんと音が出る。ゼンマイの出力が弱まり、音が冗長になるとすかさず館長さんがハンドルをまわす。再び蓄音器は息を吹き返し聴衆からは納得の笑みがこぼれていた。ここにはエジソン型蓄音器も展示されている。音は茶筒状の円筒に蓄えられていて現在のレコード板からは想像もつかないものであった。デジタル機器全盛の今、オルゴール・蓄音器といったアナログ機器にはどこか気持ちをほっこりさせる温かみを感ずる

続いて、小黒恵子さんの足跡説明に移る。生前NHKの対談番組に出演されたVTRの映像も含め佐藤ハチロー、谷口六郎らとの交流や、このご自宅を童謡記念館として遺すに至った経緯が語られた。2階はそれらの足跡を物語る貴重な資料館ともなっていた。

入館してからあっという間に二時間が過ぎた。帰り際、男性参加者から「こんなに近くに住んでいるのだから、もっと早く来ていれば良かった。ありがとう。」という言葉をいただいた。

短歌

北見方　吉田　惠一

平成二十九年度雑誌短歌欄　佐佐木幸綱氏選

水鳥の気配はあれど霧の中
　葦生烟りて姿は見えず

川の瀬で羽根を繕う鴨番
　水冷たきに化粧忘れず

山茱萸の花に囲まれ畑仕事
　耕す土塊に春の香匂ふ

咲き初めて幾日経ぬらむ百日紅
　夏の日を浴びなほも鮮やか

平成29年度 高津第三地区社協 主な行事

4月
・老人福祉部春の歩こう会

5月
・高津第三地区社協総会
・会食会「第175回いずみ会」

6月
・障がい児者福祉部　一日レクリエーション
　行き先　東京ディズニーランド

7月
・会食会「第176回いずみ会」
・老人福祉部学習会「認知症予防と認知症の方への接し方」

9月
・会食会「第177回いずみ会」

10月
・老人福祉部秋の歩こう会

11月
・会食会「第178回いずみ会」
・福祉推進部二子第五町会二子塚錦長生会に出席、啓発活動

12月
・児童福祉部「星空観察会」
・障がい児者福祉部「クリスマス会」

1月
・会食会「第179回いずみ会」

3月
・会食会「第180回いずみ会」
・障がい児者福祉部「家族交流会（苺狩り）」
・福祉推進部二子若菜会に出席、啓発活動

※あけぼの会は毎月1回開催

東高津老人いこいの家ならびにあけぼの会

設立二十周年記念式典

関　明

平成29年11月17日(金)、すっきりと晴れ上がった爽やかな朝、いつもながら十時前後に徒歩や迎車に送られて来るはずのあけぼの会対象者が続々と集まってくるそれとともに20名近い来賓の方々も。

ほぼ全員が揃って十時に開会する。オープニングは祝の舞「三番叟」を実施委員の斉藤尚子さんが踊る。日本の伝統的な踊りであり、舞のすばらしさに見とれてしまう。

上條和美副委員長の開会のことば

大島明運営委員長と小池克利あけぼの会実施委員長の主催者挨拶があり、斉藤二郎高津第三地区社会福祉協議会会長と杉井繁人社会福祉協議会事務局長の来賓祝辞があった。いずれも設立20周年という年月の重さを感じさせる挨拶である。来賓紹介がありった。短時間ですっきりした記念式典となった。

食後はあけぼの会対象者による今日の会の感想を全員で話された。

どの方も「楽しかった」と異口同音に語られていたことが印象的であった。

本日のあけぼの会は234回目になる。

町会長や東高津老人いこいの家の運営委員をなされている方ばかりである。

その後清野喜久夫あけぼの会実施委員長補佐の閉会の言葉があり、記念式典は終了した。

その後は食事・歓談となの方々

障がい児者福祉部会

藤原忠興

私がサンタクロースになってから十三年が過ぎました。初めてサンタに変身したのは、高津区保護司会の保護司に採用された平成十七年に、さかのぼります。

第三社会福祉協議会も何も知らないまま、先輩保護司さんに勧められ部会に行き、障がいを持っている人に活動を通じて楽しんで貰える部でした。部員の皆さんの活動を見て学びました。

毎年十二月に行われるクリスマス会でサンタをやるように部長から厳命されました。サンタのスタイルで人前に出るのは、照れましたが、川崎の歌姫　桜井純恵さんの歌に合わせてサンタサ～ンと呼ばれて暗いなかにロウソクが燈された会場に登場して、子ども達に手を振り足元でステップして軽やかに踊る仕草で盛り上げます。

桜井さんの歌でクリスマス会は始まります。赤服、白い髭、すっかりサンタさんになって自分も楽しみながら、参加してくれた皆さんにクリスマスプレゼントを渡すと喜びの声と満面の笑顔でありがとうの言葉がかえります。サンタになって良かったと感じます近頃ライバルのテントラチャンが出現して一緒に会を盛り上げております。

また今年十四回目のサンタになりこの場所に立ちたいと思います。

会食会

いずみ会　三好弘子

いずみ会当日は朝十時近くになると気の早い方は老人いこいの家に集まってきます。

皆さんとても楽しみにしているらしく待ち遠しいようです。今年度は班を再編し、新しく参加した人達、前からいる人達と地域を変えて再出発しました。各班とも戸惑いながらその班の特徴を出して皆さんに喜んで貰えるように頑張っております。

4班に分けて食事作りお手伝いと各班十人前後でやっています。食事作りはその季節に合った献立を考えて、買い物から始まります皆さんのお口に合うよう、美味しく食べていただけるよういろいろ知恵を出し合い和気あいあいと楽しく作っています。作っている間に皆さんには日本舞踊・八木節・フラダンス・パントマイム・桜井純恵コンサート・南京玉すだれ・ハンドベルと合唱等毎回楽しめるように工夫しています最近は健康体操(テントラちゃん体操)テントラちゃんも参加して会を盛り上げてくれます。

催し物が終わると楽しみにしている食事の時間です衛生面には充分気をつけて安心して食べて頂けるように心がけています。食事会が終わり帰る時に「とてもおいしかった、楽しかった」と声をかけていただくと嬉しくて疲れも飛んでいきます。また、男性スタッフには食器の出し入れ会場作りと司会をお願いし協力して頂いております。これからも皆さまお元気でご出席くださいますようお待ちしております。

星空観察会

児童福祉部　矢澤　薫

12月14日、児童福祉部はかわさき宙と緑の科学館の学芸員さんにお越し頂き、東高津小学校校庭で星空観察会を行いました。観察会は4年生の児童とその保護者を対象に行います。

当日はとても冷える寒い夜でしたが、雨の心配はなく安心しました。

移動天文車アストロカーを使って学芸員さんより星の説明があり、子どもたちは興味深く話を聞き学芸員さんの問いかけにも元気に手を挙げて答えていました

天体望遠鏡で沢山の星の集まりである星団「すばる」を見た子どもたちは、「沢山見える」「綺麗！」などの各々感想を言いながら夢中になって見ていました。中には星がいくつあるか数えて楽しんでいる子どももいました。

また、今年は観察会とふたご座流星群のピークが重なり天候にも恵まれた為、星が流れる度にあちこちから歓声が聞こえてきました

楽しそうな子どもたちを見ていると、今年も星空観察会が出来て良かったなと思います。

今回の星空観察会は総勢380名と、今までで最大の人数となりました。皆様のご協力により何事もなく会を終えることが出来、スタッフ一同感謝しております

これからの福祉推進部

福祉推進部　中村博史

高津第三地区社会福祉協議会には、児童福祉部、障がい児者福祉部、老人福祉部、福祉推進部、おもいやり編集委員会、ミニデイあけぼの、いずみ会（会食部）などの各部会が各地域で福祉活動をしています。その活動の中で、各部会が様々な福祉活動していくには事業費が必要です。その事業費は各町会の皆様から賛助会費をいただいて事業の一部として使わせていただいています。

福祉推進部の活動の目的は、各町会の理事会などに出席して社協の各部会の活動の内容を紹介し、理解していただき、どうして賛助会費が必要かの説明することが主な活動です。

これまで、高津第三地区内の町会はひと通り回りました。現在は地区内の長生会（老人会）の理事会などに出席させていただき広報活動をしています。来年度には地区内の長生会もひと通り回り終える予定ですので、次の推進部の活動をどうしたらよいか現在模索中です。別の方法等でまた各町会などにお邪魔させて頂きたいと思います。その時はまたよろしくお願いいたします。

平成29年度は

一、〇六一、〇〇〇円

のご協力がございました。

これらのご寄付・賛助会費はひとりぐらし老人会食会「いずみ会」や地域のミニデイケアの活動、青少年育成活動など、幅広い形で有効に利用させて頂いております。

今後も皆様のご期待にこたえることができるよう地域に根ざした福祉の推進に力を入れてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ご支援・ご協力ありがとうございました

今年度も高津第三地区社会福祉協議会にご寄贈がございました。

〈寄託金品〉

竹仲　密昭様

中村　俊彦様

塚本　幸江様

〈賛助会費〉

社協の活動にご賛同いただいた方（＝賛助会員）に一口千円からの会費（＝賛助会費）をいただくことにより社協活動にご参加いただいております。

編集後記

機関誌「おもいやり38号」をお届けいたします。寄稿者の方々有難うございました。

2025年の日本は団塊の世代が75歳を超えて通称後期高齢者となり、国民の3人に一人が65歳以上、5人に一人が75歳以上という誰もが経験したことのない「超高齢社会」になります。この避けては通れない現象を「2025年問題」と言われております。

職を離れたのちの過ごし方はいろいろあるでしょうが、医療保険、介護保険のお世話になるのを少しでも先延ばしにするために、地域の老人クラブなどの団体に加入して、地域の方々と一緒に心と体を鍛えるのも一案だと存じますが。

編集委員

小黒　久男　吉田　豊

戸張　勝美　藤江　将吾

三好　弘子